

# 平成26年度 校内研修計画

甲州市立大和中学校

## 1. 学校課題（研究のあゆみより）

「生きる力」の育成に関する本校教育課題は次の4点である。まず、平素の学習活動や各種調査結果から家庭学習の習慣が確立されていない状況にあるといえる。多くの生徒が塾に通ってはいるが、家庭での主体的な学習はなされていない。継続的な学習習慣の確立、主体的な学習態度の育成が、基礎的・基本的な内容や技能の定着につながり、さらに思考力・判断力・表現力など課題解決的な資質・能力の育成に役立つと考える。二つ目は、幼少時から少人数集団の中で、互いに思いやり、助け合っ学校や地域での生活を送るなど、思いやりの心をもった生徒が多い。しかし、互いのことをよく知っているがため、きちんと話す必要性が低く、自分の考えを表現する力が弱い。今後も道德教育や特別活動の充実により、自主的・自律的で、豊かな心をもった生徒の育成を図るとともに、表現力をつけるような指導もしていく必要がある。三つ目は、本校の生徒は体力の向上や心身の健康の保持増進に関する関心が高い。体育や健康安全に関する指導並びに部活動の充実により、たくましい心や身体をもち、生き生きと生活できる生徒の育成に努めたい。四つ目は、教職員と生徒の信頼関係をさらに強めるとともに、開かれた学校の実現を目指し、保護者や地域社会と協力して生徒の望ましい成長を支えていくようにさらに努力したい。

## 2. 研究主題

主題 「生きる力の育成」

副主題 ～聞くこと・話すことの指導から、伝え合う力の育成～

## 3. 主題設定の理由

一昨年度から新学習指導要領が完全実施になり、「知識基盤社会」の時代において「生きる力」の育成がますます重要になる。そのために「基礎的な知識・技能をしっかりと身につけること」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むこと」「学習に取り組む意欲を養うこと」が方針として示されている。

新学習指導要領の全面実施にあたり、甲州市教育委員会では平成23年10月11日に、市内小・中学校の児童生徒に確かな学力の定着や向上を図るため、「甲州市『確かな学力』育成プロジェクト委員会」を発足した。主体的に取り組む態度の育成、思考力、判断力、表現力の育成、さらに学習意欲、学習習慣、家庭学習の課題点を洗い出して本市児童生徒の確かな学力の定着・向上を図るプロジェクトである。

このような経緯に沿いながら、本校の課題である「伝え合う力を高める指導」へと研究を進めてきており、その成果も徐々に上がってきている。「伝え合う力」を育てるためには「聞くこと」と「話すこと」の双方向から伝えることで、より理解も深まると考える。「話し手」が主体的に話を展開するためには、「聞き手」の反応のよさが一番の手だてになるのではないかということ、またよい「聞き手」を育てるためには、「話し手」に対する具体的な理解の示し方や聞きたいことを能動的に表現できるような授業や練習を生み出すことが重要な視点であると考えた。

昨年度は、「伝え合う力」を焦点化したアプローチから学力向上を図っている。今年度は、その流れに沿いながら、「聞くこと・話すこと」も視野に入れた取り組みを計画している。

4. 研究の具体的内容と方法

(1) 学級づくり・集団づくり

- ①Q-U 調査の実施 (5月と11月の年2回実施)
- ②あいさつの取り組み (縦割りか学年ごとに行う)

(2) 授業づくり, 授業改善

- ①「学習の手引き」(大和中学校授業の受け方)の再確認, 教室掲示
- ②一人一実践の授業研究 (授業の構造化, 学習スキル)

(3) 地域, 保護者との連携

- ①授業参観 (年4回), 学年部会
- ②「学習の手引き」の活用

重点: 「あいさつ」「学習の手引き」

### 年間校内研究計画

研究主任 奥田真由美

研究テーマ	教科	単元・領域等	授業者	学年	授業の時期	T・C要請
『生きる力の育成』 『聞くこと・話すこと』の指導から伝え合う力の育成	社会	議院内閣制のしくみ	前島香織	3	9月	
	数学	4章 関数 $y = ax^2$	筒井弘	3	9月	
	音楽	荒城の月	富田照也	2	10月	
	理科	力と圧力	益田文教	1	10月	○
	家庭	地域の食材を使って調理をしよう	石田周子	1	11月	
	英語	現在進行形	奥田真由美	1	11月	
	体育	器械運動	藤澤仁士	2	12月	
	国語	少年の思い出	鮎澤智美	1	1月	

## 年間校内研究計画

研究主任 前島香織

研究テーマ	教科	単元・領域 等	授業者	学年	授業の時期	T・C要請
『生きる力の育成』 聞くこと・話すことの指導から、伝え合う力の育成	国語	話し合い活動	鮎澤智美	3年	10月	
	社会	地理的分野 日本の諸地域	前島香織	2年	11月	○
	数学	1次関数	筒井 弘	2年	10月	
	理科	化学変化とイオン	奥山寿夫	3年	10月	
	保健 体育	「運命」鑑賞	富田照也	2年	11月	
	音楽	球技 ソフトボール	小石澤重人	2,3 年	10月	
	家庭	自分らしく清潔に着る	藤本珠美	1年	12月	
	英語	Unit 8 疑問詞where whoseの用法	杉山智恵	1年	11月	

## 5. 研究計画

回数	研究テーマ	担当者	時期	T・C
1	・昨年度の研究について	研究主任	4月 3日 (水)	
2	・今年度の研究について	研究主任	4月16日 (水)	
3	・学習の手引きについて ・学習スキルについて	研究主任	4月30日 (水)	
4	・K-13法で分析, 今後の取り組みについて検討	研究主任	6月25日 (水)	
5	「聞くこと・話すことの指導」 についての理論研究		7月 9日 (水)	
6	SCとの学習会	スクールカウンセラー	8月22日 (金)	
7	一人一実践の計画		9月10日 (水)	
8			9月17日 (水)	
9			9月24日 (水)	
10	益田先生指導案検討		10月15日 (水)	
11	一人一実践と研究授業		10月22日 (水)	
12	益田先生 研究授業		10月29日 (水)	
13	〃		11月 5日 (水)	
14	〃		11月19日 (水)	
15	・K-13法で分析, 今後の取り組みについて検討	研究主任	12月 3日 (水)	
16	一人一実践と研究授業		12月10日 (水)	
17	〃		1月28日 (水)	
18	・今年度の反省	研究主任	2月25日 (水)	
19	・来年度へ向けて	研究主任	3月 4日 (水)	

その他の研究日について

〈東山梨教育研究〉

- ① 5月7日 (水) 教協研究集会 ② 5月21日 (水) ③ 6月4日 (水)  
④ 8月4日 (水) ⑤ 8月29日 (金) 統一授業研 ⑥ 10月1日 (水) 秋季教研

⑦ 11月26日(水) ⑧ 1月14日(水) ⑨ 2月4日(水) 統一授業研

⑩ 2月18日(水) 冬季教研

〈ブロック交流〉

① 7月30日(水) ② 11月12日(水) 〈勝沼ブロックと合同学習会：講師 品田笑子先生〉 ③

1月21日(水) 〈大和中授業公開〉